

大阪工業大学 應援團 團報



発行所 大阪工業大学 應援團
発行責任者 紺本和彦
編集責任者 目黒裕隆
大阪市旭区大宮5丁目16番1号
TEL (06) 952-3131

團報 第三十七号

祝 入学

大学歌

竹友藤風作詞
信時 潔作曲

一、産業の意図にたくましく
都の力あつたりて
築き上げたる、大学よ
仰げ雲霧晴れわたる
生駒の山の空高し
二、新生の道ひらけ行く
国土の命ひなごりて
望みけちけち、大学よ
歌え広野に大旋の
堤をあらう水清し



第三十四代團長挨拶
大阪工業大学 應援團
團長 紺本和彦

新入生諸君、御入学おめでとう
ございます。諸君は今、厳しい受
験戦争をくり抜け、ようやく迎
り着いた大学という新たな環境に
一抹の不安を抱きながらも、夢と
希望に胸を一杯に膨らませている
ことと思います。

しかし、その一方で受験戦争の
中で思い描いていた理想のイメ
ージと現実の大学生活とのギャップ
を感じている方もおられるかもし
れません。

本学は理工系ということもあり、
一週間のつりと詰まった時間割、
難解な授業、課題など少しでも気
を抜けばすぐに授業から取り残さ
れてしまいます。そのうえ、諸君
の周囲には様々な娯楽が溢れかえ
っており、辛い現実から逃げ込む
先には困ることはありません。

大学には出席の義務はありません
から、もし諸君が授業に出席せず
にお金儲けに精をだしたとしても
誰も咎めるものではありません。し
かし、ここで一度考えてみて

ください。四年間というのはあっ
という間です。卒業はまだ先の話
だと思っただけで、遊びほうけてい
間だけがどんどん過ぎ去り、気が
つけば何の成果も残さないままに
貴重な大学生活を終えてしまうこ
とになってしまいます。それはあ
まりにもつらい話です。厳し
い受験戦争を乗り越え、手に入れ
た四年間だからこそ今しかできな
いことにチャレンジするべきでは
ないでしょうか。

それではこの四年間を充実した
ものとするには具体的にどうす
ればいいのか、最も簡単に確実な
方法はクラブ活動に参加すること
です。幸いなことに本学でも様々
なクラブ・サークルが活動してい
ます。入学時に配布された「クラ
ブ活動のすすめ」に目を通せばき
つと幾つか興味のある団体が見つ
かるはずです。

新入生諸君の中にはクラブ活動
の為に勉学に支障がでるのではと
不安に思っている人もおられるか

もしれませんが、多くの先輩が立
派に両立していることからも分か
る様に決して難しい事ではありません。

もしも諸君がクラブ活動に参加
したならば学科を超えた多くの友
人や先輩を得ることができます。
彼らは勉学からプライベートまで
諸君の良き相談相手になってくれ
るはずです。彼らの様々な角度か
らの意見はきっと諸君の視野を大
きく広げてくれることでしょう。

そしてまた、クラブ活動を通して
得ることのできる協調性、積極性、
判断力等は今後、社会に出ていく
うえで諸君を支える大きな力とな
ることは間違いありません。

最後に、諸君が何事においても
積極的に取り組み、自分が大阪工
業大学の学生であるという自覚と
誇りをもってこの四年間を有意義
なものとするを切に希望し
ます。

「押忍の精神、面目躍如たれ！」

学生部長 飯田健郎

「新入生諸君、ご入学おめで
と！」

今年、城北公園の桜が満開に
なる直前に諸君を迎えることがで
きました。特に、本年度から、工
学部の新入生に加えて、新たに
情報科学部の新入生を迎えるこ
とができましたことを大変喜んで
おります。城北公園の桜も、雨に
打たれることもなく、まさに桜花
爛漫。これからの四年間、勉学
および課外活動にいそしみ、充実
した学生生活を過ごされるように
希望します。

さて、最近の世の中の変化は大
変目まぐるしくなりました。例え
ば、種々の製品のライフサイクル

が段々短くなってきています。理
系の大学生の必修となったコンピ
ュータのハードウェアおよびソフ
トウェアにしても、数年前のタイ
プがもう旧式の烙印を蒙る時代で
す。我々はこのように大変気化し
い時代に生きているわけですが、
このような変化の目まぐるしい時
代にこそ、将来を見据えたりリー
ダーシップが必要とされているよう
に思えます。しかし、リーダーシ
ップを取るにしても、なにしろ相
手のあることで、リーダーがいか
に孤軍奮闘してもなかなか物事が
はこばないという事態が往々にし
て生じます。

このような時に、主役を支える

「緑の下の力持ち」がいれば物事は
非常にスムーズに動くようになる
わけです。すなわち、リーダーシ
ップにも、「先導型」と「後押し
型」という二つの型があることが
分かる。そして、この二つがうまく
作用すれば、多分、「鬼に金棒」
ということになるでしょう。

先導型のリーダーシップは派手
にみえますが、後押し型のサポー
トがあつてこそ機能するものです。
応援団の諸君はまさにこの「緑の
下の力持ち」を努めているわけで、
主役を助ます役目を黙々と果たし
ているように見受けられます。
「押忍の精神、面目躍如たり」を
期待しています。

募集!!

應援團本部員

我々應援團では、
幅広く活動するため
学年を問わず団員を
募集しています。

詳細は、應援團本部員又は、
團室(部室センター4F)迄
大阪工業大学 應援團本部

TEA ROOM

まるぐりっと

PHONE (954)9478

2分間証明写真

野口フォトサービス

千林大宮商店街 天竜パチンコ前
TEL 951-1878

日替り「おめん定食」

お好み焼他

おめん

(小宴会に持ってこいの店)

営業時間: 午後6時-午前2時迄

中宮4丁目 高速道路下

TEL 954-6477

いつも 트렌ディーで人気者
カット サロン

五幣

大宮 3-2-15

TEL 951-0209

團員紹介

團長
紺本 和彦 (IA4)
大阪・東野屋川高校出身
この御方は、團長二年目という
こともあり、その風格は、まさに
團長そのものである。

副團長
伊藤 仰二 (IA4)
大阪・貿易学院高校出身
型のきれ、美しさはピカ一。そ
の人並外れた筋力、体力は應援團
一である。

総務部長・会計部長
伊藤 仰二 (IA4)
大阪・貿易学院高校出身
型のきれ、美しさはピカ一。そ
の人並外れた筋力、体力は應援團
一である。

目黒 裕隆 (IK4)
愛媛・松山南高校出身
太鼓を打つ技量は應援團一。そ
の上、事務面でも團活動を取りま
とめる几帳面さを持ち合わせてい
る。

三回生
島田 卓弥 (IK3)
大阪・佐野高校出身
三回生唯一のリーダー部員とし
て、應援團の将来を支えるナイス
ガイである。

三回生
今井 靖之 (ID3)
愛媛・松山南高校出身
大阪工大應援團のシンボルであ
る大團旗を、何時の間、持ち
続けられる男は彼以外にはいない。
三回生

岩槻 建太郎 (ID3)
兵庫・村岡高校出身
非常に人当たりが良い彼は、対
外面で應援團にとっても貢献してい
るのである。

三回生
山崎 聡 (ID2)
兵庫・尼崎小田高校出身
兄かけによらず、稽古には真剣
に取り組み、リーダー部員として
たのしい存在である。

三回生
竹本 兼久 (ID2)
京都・西宇治高校出身
二回生ながら、團活動における
やる気は、上回生にも優る勢いの
ある男である。



上段左より 紺本團長、目黒、伊藤
中段左より 今井、島田、岩槻
下段左より 竹本、山崎

應援團とは何ぞや？

きつい、厳しい、規律にうるさ
い・・・新入生を含めて、一般の
工大生が應援團に対して抱くイメ
ージは大方そのようなものである
。そう、まさにその通りである。
ここで敢えて、應援團のそういう
一面を隠して新入生を誘い込もう
という気はない。なぜなら、それ
らは決して意味の無い事ではなく、
應援團の活動の中だけにとどまら
ず、将来、社会生活を送るうえで
も十分に役にたつことばかりだか
らである。そして、日々の應援團
活動を通じて自然と心身ともに健
全で熟成した人間となるであろう
ことを我々は信じて疑わない。そ
れでは我々の日頃の活動を具体的に
紹介していきみたいと思う。

各クラブ応援
各運動部の試合の応援もさること
ながら文化部の発表会や入学式
・卒業式への参加など工大のあら
ゆる行事の成功の一助となるよう
日々、活動を行っている。

学祭
学祭では、応援団の日頃の活動
を知ってもらうために体育会・二
部クラブサークルと共に演武祭を
共催し、他の武道系クラブと同様
に演武を執り行っている。またデ
ィスコ風のパーティータイムを主
催し、これは毎年、学祭一の盛り
上がりを見せ、工大らしいパワ
ー溢れたものとなる。

合宿
応援団内の行事として春・夏の
二回、合宿を執り行っている。合
宿期間中、体力づくり、応援の型
・振りなどの稽古を行ない、それ
は応援活動を支える基となる。ま
た、上級生から下級生までの共同
生活を通して礼儀・規律を身につ
けると共に団員の親睦を深めるこ
とを目的とする。

最後に、応援団から全工大生に
言わせてもらいたい。将来、自分
達の母校となる大阪工業大学に対
して誇りをもち、躍動的な大学生
活を送るうではないか！

「春合宿を終えて」

二回生 山崎 聡

春季合宿 in 大阪工大60周年記念館 1996.3.21~3.26

我々、大阪工業大学応援団は二
月十九日・二十日の二日間、春季
合宿の前稽古、そして三月二十一
日から三月二十六日までの六日間、
六十周年記念館において春季合宿
を行った。

今回は自分にとって二度目の合
宿となるのだが前回に白浜で行わ
れた夏合宿とは、あまりに環境
が違い、初日から戸惑った。

その中でも一番つまらかったのは
三月の下旬とは思えない程の寒さ
だった。夏合宿の暑さにはなんと
か耐える事ができたが、五時半に
起床し、六時からの早朝稽古では、
稽古着一枚のうえに凍るような寒
さで思うように体が動かなかった。
腕立て・腹筋・ランニング等の
基礎体力の増進を目的とする稽古
は前稽古と合宿二日目までで終わ
り、そこからは個別に分かれ実際
の応援の稽古へと移った。

応援は団員がリーダー部・旗手
部・プラスバンド部に分かれ行わ
れるのだが、そのうちのリーダー
部に所属する自分は応援において
は隊列の前に立ち、型を振る役割
を負っている。

部別稽古では、まず最初にこれ
までに習ったことを反復し、その
後、先輩から型の動作一つ一つに
より細かい所まで指導を受けた。
そして、新たにVの字という型
を習った。全身で勝利のVを表現
するこの型は秋の演武祭前に手合
わせの方でもなかなか覚えられず、
先輩に毎日、何度も振っていただ
いたものだった。

いざ、自分がやってみるとフラ
フラしてちっとも綺麗に振れず、
その上、二・三回振っただけで息
が切れ、足がもつれて階段を降り
るのもままならない状態となった。
改めて自分の体力のなさを痛感す
るとともに、少しの乱れも見せず
に型を振る先輩に少しも追いつ
けるように一層、稽古に励まねば
ならないと深く思った。

今回の合宿は自分にとって前回
に増してかなり厳しいものだった
が、その分、更に大きな手応えと
満足感を得ることができた。この
合宿で得た様々なことを今後の応
援団活動に活かし、より一層精進
して行きたい。

大阪工業大学 應援團活動結果報告

躍動の一年〜平成七年度〜

四月六日 入学式参加 (於・総合体育館前)	五月十一日 第三十五号團報「押忍」発行 五月十九日 上方落語研究会 第四十六回太閤寄席鑑賞 (於・コスモ証券ホール)	五月三十一日 硬式野球部 近畿学生春季リーグ I部II部入れ替え戦応援 (於・日生球場)	六月九日 アイスホッケー部 なんばカップ応援 (於・大阪球場スケート リンク)	六月十七日 新入生歓迎会 (於・新北京)	六月二十四日 クラシックギター部 独奏会鑑賞 (於・工大六十周年記念館)	七月六日 上方落語研究会 夏のかかりあ寄席鑑賞 (於・図書館一階コミュニ ケーションホール)	九月二日・十日 夏季合宿 (於・和歌山県・セミナー ハウス「白浜・海の家」 九月二十二日 上方落語研究会 「身体と笑いだけの関係」 鑑賞	九月二十七日 硬式野球部 近畿学生秋季リーグ応援 (於・日生球場)	十月四日 硬式野球部 近畿学生秋季リーグ応援 (於・日生球場)	十月五日 対神戸大(第二戦) 四対〇で勝利 茶道部 月見茶会参加 (於・工大総合部室センター)	十月七日 学内レガッタ参加 (於・淀川)	十月十四日 上方落語研究会 ぼんこつ寄席鑑賞 (於・梅田太融寺)	十月二十日 ラグビー部 関西学生ラグビーフットボー リーグ(Cリーグ)応援 (於・淀川河川敷グラウンド)	十一月一日 上方落語研究会 えびす寄席鑑賞 (於・梅田太融寺)	十一月五日 クラシックギター部 第二十六回定期演奏会鑑賞 (於・守口文化センター エナジーホール)	十一月十一日 上方落語研究会 第三十四代幹部披露 (於・新北京)	十一月二十二日 上方落語研究会 第三回賞金王決定寄席鑑賞 (於・梅田太融寺)	十二月一日 上方落語研究会 卒業式参加 (体育館にて団旗掲揚)	十二月十九日 卒業式参加 (体育館にて団旗掲揚)
-----------------------------	---	--	---	----------------------------	---	--	---	--	--	--	----------------------------	---	--	--	---	---	---	--	--------------------------------



淀川 堤防にて
手合わせの稽古

コチロ
ンパス
チレチ
パアパ

パーラー大丸
新装開店

大工大生のアイドル

大阪工大正門前通り TEL 952-2854

木のかおりのコーヒーハウス

TOGETSU

工大東門通り
大阪市旭区中宮5丁目5-18
TEL 06-953-7613
AM 8:00~PM 10:00

日・祝 休業

定食の店

善味

TEL 952-0982

お弁当・オードブルの御注文は
ザ・ほっかほか
玉屋工大前店へ
御利用下さい
御予約承ります TEL (955) 1424

和洋酒・食料品

田中酒店

大阪市旭区大宮3丁目1番41号
電話 06(951)2953番

大宮神社西